

結果の要約

1 職業

三重県の15歳以上就業者数(922,622人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が329,999人(15歳以上就業者数の35.8%)と最も多く、次いで「事務従事者」が164,856人(同17.9%)、「販売従事者」が110,435人(同12.0%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が8,936人(11.6%)増、「保安職業従事者」が657人(5.1%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が3,574人(15.6%)減、「販売従事者」が8,427人(7.1%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が39.1%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が31.8%、「販売・サービス関係職業」が22.8%、「農林漁業関係職業」が4.8%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が0.3ポイント上昇しているのに対し、「事務・技術・管理関係職業」、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ0.7ポイント、0.5ポイント、0.3ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業者」
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業者」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は40.5時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が47.6時間と最も長く、次いで「管理的職業従事者」が44.8時間、「保安職業従事者」が44.1時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.2時間減、「専門的・技術的職業従事者」及び「販売従事者」が1.7時間減となっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が224,384組(夫婦数482,022組の46.6%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が138,588組(同28.8%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業者」である夫婦が34,320組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の15.3%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業者」、妻が「事務従事者」である夫婦が23,140組(同10.3%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は194,361世帯(住宅に住む一般世帯653,163世帯の29.8%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は458,802世帯(同70.2%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が169,831世帯(同26.0%)、「女性のみ」の世帯が84,219世帯(同12.9%)、「幼児と女性のみ」の世帯が39,100世帯(同6.0%)となっている。

図1 三重県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

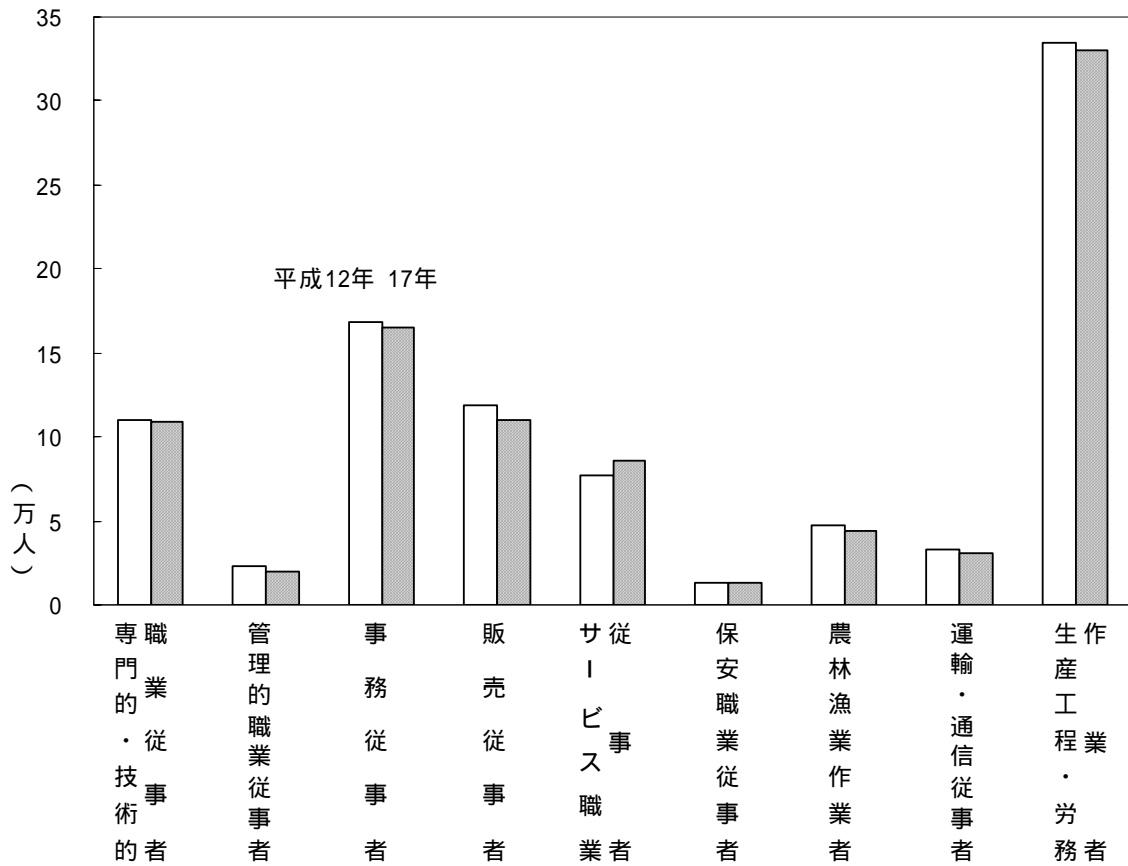


図2 三重県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

